第433回生命科学セミナーのお知らせ

下記の通り生命科学セミナー(統合生命科学研究科セミナー)が開催されますので、教員・院生・学生を問わず、多数ご参加下さい。

記

日時: 2025年8月6日(水) 13:30~15:00

場所: 広島大学 総合科学部 J306教室

演題: グレリンを基軸とした能動的低代謝のしくみ

演者: 佐藤 貴弘 氏

(久留米大学 分子生命科学研究所 遺伝情報研究部門・教授)

《 講演要旨 》

ペプチドホルモンであるグレリンは、摂食行動の促進やエネルギー代謝の調節に関わる重要な因子として知られているものの、その多面的な生理機能の全容は未だ十分に解明されていない。これまでに、グレリンが飢餓時の摂食行動を誘導するだけでなく、全身の代謝状態を細やかに制御していることが示唆されてきた。我々は、グレリン遺伝子欠損マウスを作出し詳細な解析を進める中で、哺乳類における能動的な低代謝現象(トーパー)において、グレリンが必須の役割を果たしていることを初めて明らかにした。

さらに、グレリンによるトーパーの誘導および維持の機構解明を目的とした研究の過程で、新たな動物モデルの開発を進めるとともに、これまで知られていなかった細胞内のシグナル制御機構に関する知見も得つつある。これらの成果は、哺乳類におけるエネルギー恒常性の理解を深化させるだけでなく、将来的には肥満や代謝性疾患、老化などの医学応用にもつながる可能性を秘めている。

本講演では、グレリンを基軸とした能動的低代謝現象の最新の研究成果を紹介するとともに、その分子機構の詳細や今後の展開に意義についても概説する。

責任者 統合生命科学研究科・浮穴和義(内線 6571)

(注) 本セミナーは、プログラム共同セミナーの対象です。